

No.	020	—	2001	事務事業名	救急法普及に関する事務	細事務事業名		公的関与	2
-----	-----	---	------	-------	-------------	--------	--	------	---

PLAN	課名	警防課	係名	救急救助係	電話番号	089-964-5217	メールアドレス	keiboka@city.toon.ehime.jp						
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 期間設定なし					
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実		主要施策	(2) 消防・救急体制の充実					
	事業の対象	東温市内居住者及び勤務者				根拠法令								
	事業の目的	最終的	救急車が到着するまでの応急手当の必要性を理解していただき、救命率の向上を図ります。			今年度	東温市で行われる各種イベント等を活用し、多くの方々に応急手当、救命処置について理解を深めます。							
	活動内容	①	応急手当指導員の知識、指導法の向上のため救急救命士が指導を行います。			④	女性消防団員、小中学校教職員を対象に応急手当普及員を養成する講習会を開催します。							
		②	救急法を理解し易いように指導プランの見直しを行います。			⑤								
		③	東温市が行うイベントに参加して救急法の普及啓発を行います。											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標				
		応急手当普及員講習		回数と参加者数		回・人	目標 1回 15人 実績 —	1回 15人 1回 15人	1回 15人					
上級救命講習		回数と参加者数		回・人	目標 1回 20人 実績 1回 58人	1回 20人 1回 39人	1回 20人							
一般救命講習		回数と参加者数		回・人	目標 50回 800人 実績 77回 2,764人	50回 800人 68回 2,679人	50回 800人							
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	消防 費								
	直接事業費	平成 29 年度決算		平成 30 年度決算		平成 元 年度予算		備考						
		国・県支出金		0 千円		0 千円		0 千円						
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源		0 千円		0 千円		0 千円						
		一般財源		162 千円		170 千円		180 千円						
	計(A)		162 千円		170 千円		180 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.146 人	878 千円	0.160 人	981 千円	0.070 人	437 千円						
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		1,040 千円		1,151 千円		617 千円							
CHECK・ACTION	一次評価者	救急救助係	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	救命率の向上を目指すには継続して救命講習を開き、市民の方に救命処置、応急手当を覚えていただく必要があります。												
	有効性	応急処置、救命処置、AEDに対して市民の関心が高まっています。												
	達成度	短時間の救命講習は増加していますが普通救命講習、上級救命講習の新規の受講者に増加があまりみられません。												
	効率性	女性消防団には概ね応急手当普及員の育成ができておりますが、小中学校の教職員に対しては、夏休み等を利用して救急法の指導者を増やします。												
	当面の課題	普通救命講習の再講習が増えてきているが、新規で受講していただける方を増やして今後一層、救急法の普及に努める必要があります。												
	改訂計画	普通救命講習だけでなく、上級救命講習を受講していただく方を増やせるよう、普及啓発していきます。												
	二次評価者	警防課長	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
	二次評価での指摘事項	今後も各種イベント等において、救急法の必要性を理解していただき、新たに救急法受講者が増えるよう普及啓発に力をいれてください。												

No.	020	—	2004	事務事業名	愛媛大学・東温市医師会との連携に関する事務及び業務			細事務事業名		公的関与	2					
PLAN	課名	警防課		係名	救急救助係		電話番号	089-964-5217	メールアドレス	keiboka@city.toon.ehime.jp						
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	年度	～	期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実		主要施策	(2) 消防・救急体制の充実							
	事業の対象	愛媛大学医学部附属病院、東温市医師会、消防署					根拠法令									
	事業の目的	最終的	愛媛大学医学部附属病院、東温市医師会と連携し社会復帰の向上に努めるとともに、東温市の医療体制の構築をはかります。					今年度	愛媛大学医学部附属病院と連携し勉強会を開き救急隊の知識、技術の向上を目指します。							
	活動内容	①	東温市脳卒中患者救急搬送連絡協議会事務、症例検討会の実施。					④	松山圏域医療対策会議に参加。							
		②	中予地域での脳卒中勉強会の計画及び実施。					⑤								
		③	東温市健康フォーラムに参加し東温市の医療連携強化を図ります。													
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標					
		東温市脳卒中患者救急搬送連絡協議会		年2回			回	目標	2	3	3					
						実績	会議・検討会・症例発表		会議・検討会・視察研修							
東温市医師会の主催する東温市健康フォーラム		年1回			回	目標	1	1	1							
						実績	1		1							
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	消防			費						
	直接事業費	平成 29 年度決算		平成 30 年度決算		平成 元 年度予算		備考								
		国・県支出金		0 千円		0 千円		0 千円								
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円								
		その他特定財源		0 千円		0 千円		0 千円								
		一般財源		100 千円		100 千円		100 千円								
	計(A)		100 千円		100 千円		100 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.104 人	625 千円	0.104 人	638 千円	0.104 人	649 千円								
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
	全体事業費(A+B)		725 千円		738 千円		749 千円									
CHECK-ACTION	一次評価者	救急救助係		総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実	
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）														
	必要性	愛媛大学附属病院と東温市医師会との連携を継続することは、東温市の救急医療体制を充実するために必要です。														
	有効性	連携を強化することにより東温市の救急医療体制の充実につながります。														
	達成度	症例検討会、勉強会を開催することにより医療機関との連携強化が図られ救急隊員の知識、技術の向上に繋がっています。														
	効率性	重症度の高い傷病者が近隣の医療機関で早期に治療を受けられるよう効果的に運用されています。														
	当面の課題	救急隊員と医療機関との連携を強化し、早期に傷病者の受け入れをして頂き、救命率の向上、後遺症の軽減につなげていく必要があります。														
	改訂計画	救急活動の事後検証や勉強会で、医師に指導していただける連携づくりを計画していきます。														
	二次評価者	警防課長		総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実	
	二次評価での指摘事項	緊急性、重症度の高い傷病者が早期に近隣医療機関で治療を受けられるように、医療体制の充実及び救急隊員の知識、技術の向上に努めていく必要があります。														

No.	020	—	2062	事務事業名	愛媛大学附属病院ワークステーション			細事務事業名		公的関与	2					
PLAN	課名	警防課		係名	救急救助係		電話番号	089-964-5217	メールアドレス	keiboka@city.toon.ehime.jp						
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	平成 29 年度	～ 期間設定なし					
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実		主要施策	(2) 消防・救急体制の充実							
	事業の対象	消防職員（救急隊員）					根拠法令									
	事業の目的	最終的	愛媛大学医学部附属病院へ救急車、救急隊員を派遣し、重症事案に医師同乗でドクター救急車の運用を行います。					今年度	ワークステーション時における救急救命士の再教育、救急隊員の教育の項目を継続して協議します。							
	活動内容	①	救急車及び救急隊員を週3日の日中派遣し、医師、看護師の指導を受け知識、技術の向上を行います。					④	救急搬送後の症例検討をし今後の救急活動に繋げていきます。							
		②	愛媛大学医学部がドクターヘリ当番日には医師と連携し活動をおこないます。					⑤								
		③	愛媛大学医学部救急部に派遣時には医師と連携しドクター救急車の運用を行い救命率の向上に努めます。													
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標					
				事務の性質上、指標設定になじまない。			目標									
					実績											
					目標											
					実績											
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	消防			費						
	直接事業費	平成 29 年度決算		平成 30 年度決算		平成 元 年度予算		備考								
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円									
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円									
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円									
		一般財源	0 千円		0 千円		0 千円									
	計(A)	0 千円		0 千円		0 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.150 人	902 千円	0.044 人	270 千円	0.044 人	275 千円								
臨時職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円									
全体事業費(A+B)	902 千円		270 千円		275 千円											
CHECK・ACTION	一次評価者	救急救助係		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）														
	必要性	今後、高齢化が進むにつれ救急出動も増加し多種多様化する事案に対して救急隊員の医療に対する知識、技術の向上を図るため医師、看護師との連携が必要です。														
	有効性	医師の指示で救急医療の補助をすることにより知識、技術の向上になります。またドクター救急車の運用をすることにより早期に治療が行えることで救命率の向上になります。														
	達成度	ワークステーション方式にすることにより救急隊員が病院内で実習を行い医療の知識技術、搬送後の予後を診ることで今後の現場活動に繋げていきます。														
	効率性	ワークステーションを行う事で医師との連携が取れ救命率の向上、社会復帰につながっています。														
	当面の課題	救急車及び救急隊を愛媛大学医学部に派遣の際に、救急隊員の教育を効率的に行えるようにする必要があります。														
	改訂計画	ワークステーション時における救急救命士の再教育、救急隊の教育プランを医師と協議し、より良い研修が出来るようにしていく必要があります。														
	二次評価者	警防課長		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
	二次評価での指摘事項	救急隊員の知識・技術の向上のため、より一層の効果的なワークステーションとなるよう、医師と協議し教育プランを作成してください。														